

なん びょう 難病について

あなたに知ってほしいこと

なん びょう 難病とは

どのような理由で病気になるか明らかでなく、かつ、薬や治し方がじゅうぶんに見つかっていない、かかっている人が少ない病気です。長い間病院に通ったり、治療を続けたりする必要があります。

難病と一言でいっても、病名や症状は多種多様です。寝たきりの人もいれば、薬で症状を抑え、学校に通っている人や働いている人もいます。

大切なのは、「病気があっても、その人はその人らしく生きている」ということです。外から見ても分かりにくい症状もあるため、周りの人からはなかなか理解してもらえず、苦しい思いをしている人がたくさんいます。

「難病」という言葉のイメージから先入観をもつことなく、一人ひとりのありのままの姿を理解する気持ちが、難病の人をととても安心させてくれます。

詳しくは

しま ね けん けん こう ふく し ぶ けん こう すい しん か
島根県健康福祉部健康推進課

〒690-8501 松江市殿町1番地

公益財団法人ヘルスサイエンスセンター島根 しまね難病相談支援センター

〒693-0021 出雲市塩冶町223-7

でん わ しま ね ばん びょう そう だん し えん
電話：0852-22-5267 FAX：0852-22-6328

でん わ
電話：0853-24-8510